

二十五年

30
子
話

1月29日
11
Xの終
何部
ニ

この頃にはわからなかった

はいめの結婚は三年目くらいの時か
 記憶ろよ。そのころ勤めていた文化学院の庭
 のパーテで。ハイグスしてハイお
 嬢さんにははな夏軽井庄いあ合ふんか。フ
 スの人と結婚。この身えの細女（自身）も大
 きいお嬢さんかあつた。そのようはして花
 として歳月加増した。後の方は船の
 事。毎日々うようには言いきいていよう
 には。この船は家のもの。ツレでささ
 の祝をすよう。石ころになつた。な
 つてお籠り食いの場面であまの口。偶
 うであつて偶々で。はるいと。思わ
 のは。小たりと。そのほかは何らの
 当も持つてはあいらか。いある。

ある。今年一もつた。

この身え

この高の

フ